

名前：

最近、インターネットが世界中に広がり、家でマウスをクリック一回で様々な知識を手に入ることができるようになった。これにしたがって、私たちの生活の中で新聞や雑誌が占めていた比率が大きく変わってきている。ある人はこのような旧バイタイは要らないと主張している人も増えてきた。これは適切な判断の方。結論から言えば、これは間違っていることに違いはない。

先ず最初、インターネットのジョウホウは書きやすいため、その分文章の誤字に気を使わないのである。新聞や雑誌は何度も書きなおすこととは大きく違う。これによって質的にインターネットのちは劣ってしまうのである。それでもていねいにまとめるれた文章を要救する人はいるので、新聞や雑誌を願う人はいるだろう。

二つ目は、インターネットのフキョウの問題である。便利な世の中になってきたが、まだ完ぺきにインターネットがいつ、どこでも

使える訳ではない。電車に乗っていても人々の手にあるのはインターネット、パソコンではない。紙の新聞である。これは、まだインターネットを電車の中で気軽に使えないからである。

三つ目は、紙バイタイ自体がくれる感じの特殊さがあるからである。最近活字化され、注目を浴びているE-bookという電子本は、データを綴りやすいのが好んでいる人が多い。しかしその人たちに直接普通の本と電子本の中でどちらを読むことが好きなのか？と聞いてみれば普通の紙の本を好む人が多い。電子本は長い間読んでいると目がつかぬなど様々な理由があるが、その中でもっとも大きな内容は「紙をめくる感覚自体が好きだ」ということだ。これはインターネットが新聞や雑誌を代えることのできない理由の一つにもなるのだろう。

以上の三つのことから、新聞や雑誌はこれからも使われ続けられると思う。

1800字